

喜びはさもあらばあれこの先の

からき思ひていよよはげまな

(昭和天皇 御製)

富士山が世界遺産に登録された。日本の誇りともいえるべき富士山が世界に認められたことは一人の日本人として心からうれい。しかも、事前の調査で登録から外すよう勧告されていた「三保の松原」も日本の代表団の最後まで諦めない熱心なロビー活動により合わせて登録が認められた。海の青、松の緑、そして白く雪化粧をした富士。銭湯では定番の日本人好みの景色の素晴らしさが、各国の代表団にも伝わったのであろう。

現在夏期(七月一日〜八月三十一日)の間に富士山の山頂を目指す人は約30万人を超えている。車で行くことのできる5合目までの登山者を含めるとその数は約250万人となる。この登録をきっかけに登山者が大きく増加するのは間違いないであろう。近隣の自治体に与える経済効果も非常に大きなものが期待される。

しかし、そこについて回るのが「ゴミ問題」だ。以前ユネスコの担当者が富士山を訪れた際に、そのゴミのひどさに驚いたという話もある。環境省によれば昭和五四年ごろから民間と協力してゴミ問題に取り組み、ゴミの減少に成功した。その努力が実って今回の登録になったのである。登山をされる方にはその努力を踏みにじることなく、マナーを守り、気持ちよく富士山を堪能していただきたいものである。

ところで、富士山はなぜゴミの山となってしまったのだろうか。元来富士山は信仰の対象であり、僧や修験者の修行の場であり、聖地であった。近世に入りいわゆる「講中登山」が盛んになり、一般の庶民も多く登山するようになったものの、彼らが目指したのは心身の清浄化であり、山の頂において神仏との一体化を果たすことであった。それゆえ、山に入る際には厳重な精進潔斎をし、数々のタブーを守り、山の自然にも畏敬の念をもって臨んだ。決して今のようなレジャーでの登山ではなく、いわゆる「登拝」であり、もちろんゴミを捨てるようなこともなかったであろう。ところが、敗戦を機に日本人の価値観や経済的状况が大きく変化し、富士山へ登る人にも変化を与えた。富士講は衰弱し、レジャーとしての登山者が多くを占めるようになった。このような登山者の変化により、富士山は都会との境を消失し、御山への畏敬の念は喪失してしまった。このためにゴミの山と化してしまったのである。

さて、富士山と並び称せられる信仰の山が「木曾の御嶽山である」御嶽山は富士山同様江戸時代の中ごろまでは一般の民衆の登山は禁止されていた。それを強行登山によって開いたのが覚明霊神であり、普寛霊神である。開山の歴史については依然触れたので詳細は省くが、「御嶽山開山の歴史 第一巻 覚明さん」というマンガも出版されている。覚明霊神が命を懸けて御嶽山を開かれた様子が分かりやすく描かれているのでよろしければ、「一読いただきたい。苦勞の末開山された御嶽山は、富士山と同じように各地の

御嶽講による登拝でにぎわった。近代までの富士山と御嶽山は非常に似た性格をもった山だったたのである。

しかし、現在この二つの山には大きな違いが生まれている。登山者という点では、富士山が前述のように山頂を目指す人だけで30万人を超えるのにもかかわらず、御嶽山は周辺山麓の観光客の人数を含めてやつと30万人に届くかどうかである。周辺の住民に与える経済的な恩恵は比べ物にならない。一方、ゴミという点では富士山は御嶽山には敵わない。私たちが毎年登拝させていただいているが、山中でゴミを目にしたことは一度もない。一般の登山者も多くなくなってきた昨今ではあるが、富士山のようにゴミが問題とならないのは、御嶽山が都会と一線を画していること、そして木曾の方々をはじめ、御嶽山を篤く信仰する人々によって守られているからであろう。

そんな御嶽山も今大きな転機を迎えている。御嶽山のふもとにある王滝村は基幹産業がなく、その財政は大変厳しいものになっている。そこで近年豊かな自然を活かして王滝村は「アドベンチャースポーツの聖地」を目指している。マラソンやトライアスロンなどが企画され、その中には御嶽山山頂まで駆け上がり、さらに三の池までコースに組み込まれているものもある。三の池のコバルトブルーの美しい水は「御神水」として大切に守られてきたものだ。多くの人が王滝村を訪れ、村が潤うことは御嶽山を信仰する者として喜ばしいことである。嶽基彦霊神も生前「地元にお金を落とさない」とよく口にしていた。しかし、このようなレースを行うことで水が穢され、山が穢されてしまうのではないかと不安を感じざるを得ない。御嶽山まで富士山と同じ轍を踏むようなことがあってはならないのである。

今年も妙心教会では七月十九〜二十一日の日程で御嶽山の登拝を行う。いつまでもきれいな御嶽山をお参りできるように、私たちも微力ながら御山に尽くしていきたい。

行事予定

- ◎七月十四日(日) 正午より 御山立祈願祭
- ◎八月三日(土) 夏期講習会(予定)
- ◎九月一日(日) 正午より 月例祭
- ※八月の月例祭はお休みとなります。

ご報告

去る6月8日(土)に小林宏基、齋藤瑞恵の結婚式並びに披露宴を高崎神社にて執り行いました。ご多忙中、ご参列いただいた皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

